

重点目標
やさしい
心とことばで



しょうらい 松籟



富士市立元吉原小学校
学校だより
令和8年1月6日発行

1・2月の生活目標:「寒さに負けず、元気に生活しよう」 ～手あらい・うがいをていねいにしよう～

2026 年のはじまりです 令和8年、午年（うまどし）を迎えました。午年は、古くから「勢いよく前進する」「陽気さと活力に満ちた年」といわれています。駆ける馬の姿には、大地を力強く踏みしめ、未来へ向けて思いきり跳ね上がるような躍動感があります。でも、それは決して“急がなければならない”という意味ではなく、自分の歩幅で進みながらも、内にある力を自然に引き出していく姿にも通じているのだと思います。

子どもたちも同じように、それぞれのペースで進んでよいのだと感じています。大きな一歩でなくても、挑戦してみたいと思える気持ちや、昨日より少しだけ前に進めた喜びを大切にしながら過ごしてほしいと思います。午年の前向きなエネルギーが、子どもたちの毎日をそっと後押ししてくれることでしょう。

私たち大人も、そんな小さな成長を見つけ、共に喜び合いながら、あたたかく寄り添っていけたらと思います。今年も、子どもたちが未来に向かって思いきり駆け出せるような、明るく安心できる学校生活を一緒に作っていきけるよう努力してまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



台湾嘉義市 大同小学校との交流 昨年度、富士市教育委員会から「台湾の大同小学校と交流をしませんか？」というお話をいただき、何度かの打合せを経て今年度交流をすることになりました。台湾では9月から新学年になるそうで、7月には交流の先駆けとして小学校を卒業する6年生の代表と先生方が来校されました。代表となっている新学年の6年生のみなさんは、11月20日に第1回目のオンライン交流で嘉義市の名所などを教えてくれました。こちらからは6年生が、外国語の学習も兼ねて、元吉原小学校の紹介を英語で行いました。第2回は、12月23日に元小5年生がスライドを作成して紹介をしました。大同小学校からは学校紹介をしてもらいました。全校児童が800人ほどの大きな学校とのことで、運動会のようなイベントは映像からもスケールの大きさを感じました。そのような大きな学校の代表約20名（6年生）が、2月24日に来校します。元吉原小学校の全校児童で盛大にお迎えする予定です。1月に最後のリモート交流を行い、会いたい気持ちをより一層高めて当日を心待ちにします。

もし、保護者・ご家族の皆様の中に、中国語が話せたり、聴き取れたりできる方がいらっしゃいましたら、ご協力いただけるとありがたいです。是非ご連絡ください。お待ちしております。

だるま電車 2年生が作成した「だるまコラージュ」（折り紙で折っただるまを画用紙に配置を工夫して飾りをつけるなどして仕上げた作品）と、4年生が毘沙門さん・だるまの調べ学習をまとめた壁新聞を、12月18日に4年生が代表して岳南電車の吉原駅へと出掛け飾り付けました。電車の中にはコラージュ作品を、駅舎の待合室には壁新聞を飾りました。



12月26日には、飾り付けが完了しただるま電車の出発式が岳南電車江尾駅で行われました。毘沙門さんご住職のご祈祷の後、電車が吉原駅に向けて出発しました。『岳南電車』応援ソングを作詞・作曲したミュージシャンが生で歌ってくれたり、和太鼓の演奏があったりと盛大なセレモニーでした。このだるま電車は、2月23日～25日の毘沙門天祭まで運行されるそうです。市内のお客さんはもちろん、市外や県外の方々にも楽しんでいただけるといいですね。

